

改訂内容

『指標と目標』

○ 変更箇所

- ・ 指標2 二酸化炭素排出量

基準年を平成22年として、平成32年度に25%削減する。を平成25年度を基準年として、平成33年度に12.2%削減することに見直しを行った。

これは、国が推進する削減目標に準拠しての目標設定に改めた。

○ 以下、変更がない項目

- ・ 指標1 緑地面積および里山保全活動用地面積

緑地については、市域面積(2,555ha)に対する割合を平成22年度実績55%に対して、平成32年度に59%以上対としそれを維持します。里山保全活動用地面積については、平成22年度実績57.65haに対して、その面積を広げます。

- ・ 指標3 ごみ処理・再生利用率

家庭系ごみについては、平成18年度を基準年に平成29年度に15%削減に対して、平成28年度実績で9.8%となっている。

事業系ごみについては、平成18年度を基準年に平成29年度に22%削減に対して、平成28年度実績で26%と目標に達している。

再生利用率については、平成18年度を基準年に平成29年に25%とするに対して、平成28年度実績で23.1%となっている。

今後ごみの減量化に係る推進活動を行うことで、ごみの減量化に努めることとし、目標値に変更は無い。

- ・ 指標4 河川水質

主要河川の水質を天野川の環境保全目標値(BOD3mg/ℓ)相当にする。

対象5河川のBOD数値の経年変化の最少値は4河川が目標達成できているが、最大値では、1河川しか目標を達成できていない。

しかし、4河川の平均値は、生物(コイ、フナ)生息する目安となるBOD5~8mg/ℓを下回っている。

今後の活動では、自然環境分野での「生きものいっぱい!豊かな川づくり」プロジェクトが始動するなど河川水質保全活動の推進と現況を踏まえ、目標値に変更は無い。

改訂内容

『分野別プロジェクト』

○ 変更箇所

【まちづくり分野】

- ・ 自転車の似合うまち・かたの
- ・ 自転車のマナー向上大作戦
- ・ かたの満喫エコツアー
- ・ 誰もが利用しやすいバスを走らそう！
- ・ とかいなかで農とふれあおう！
- ・ 地域ぐるみエコで子育て・親育て

分野の全体のテーマを自転車の利用促進による CO₂ の削減を推進することに見直した。また、推進活動を段階的に進め、自転車の利用促進に繋げる。

【エコ生活分野】

- ・ 生ごみを堆肥化しよう 課題・目的に則した評価基準に見直す。
(交野市全域での実施に向けて生ごみ堆肥化が試行されている → 家庭でのごみの量がへっている)
- ・ やる気がでるエネルギーダイエット . . . 課題・目的に則した評価基準に見直す。
(1人あたりの CO₂ 排出量が平成2年度比で減少している → 省エネに取り組み、実施する人が増えている)
- ・ 売ってエコ 買ってエコ 買い手の意識向上と売り手のエコ実践の啓発に活動内容を見直す。
(意見交換会・共同提案会議を設置し、提案と実施を行う → 市内の店舗調査結果をもとに、マップ化を行う)
- ・ 「かたのエコ達人への道」攻略マニュアル 課題・目的に則した評価基準に見直す。
(教材を利用した人数、団体等が年々増加する → マニュアルができている。マニュアルが講座等で活用されている)
- ・ 環境学習の場をつくろう！ 旧プロジェクト「とかいなかライフプラザ」「かたのエコ研修センターをつくろう！」を統合し、エコ啓発と学習の場の創出活動とする。

○ 以下変更のない項目（推進継続）

【自然環境分野】

- ・ 里山を知ろう・里山大好き 推進継続
- ・ 実践！里山保全活動 推進継続
- ・ 山の持ち主と活動団体の縁結び 里山保全活動団体のネットワーク強化
- ・ 生きものいっぱい！豊かな川づくり 計画推進期間の後半の推進事業として、位置付けており、平成30年度より推進する。

【エコ生活分野】

- ・ めざせ！かたのエコ達人 推進継続

【エネルギー分野】

- ・ そらいけ！ソーラーパネル 推進継続
- ・ 星のまち☆エコドライブ 推進継続
- ・ 風を活かしたまちづくり 推進継続